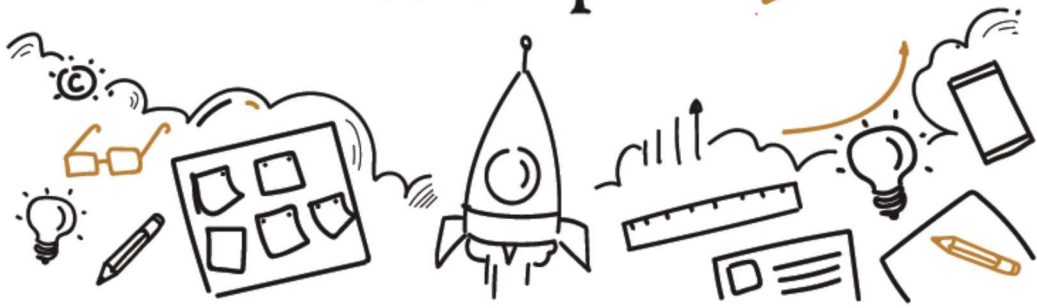


～2030年の新潟市の理想像とその実現のために私たちができること～

学生が描き、創る 未来の新潟市 ワークショップ

(Workshop)



2021年10月23日開催 学生オンラインワークショップ

令和4年3月 新潟市

1 開催概要

(1) 開催の目的

新潟市が目指す姿の実現に向けた取り組みを示す最上位計画の次期新潟市総合計画策定に係り、これからのまちづくりの方針や取り組みの方向性について、学生固有の意見を取り入れるために学生ワークショップをオンラインで開催する。

(2) ワークショップ名

学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップ
～2030年の新潟市の理想像とその実現のために私たちができること～

(3) 開催日時

2021年10月23日

(4) 会場

オンライン Zoom ミーティング

(5) 参加人数

30名（1班6名、2班7名、3班6名、4班5名、5班6名）

(6) スタッフ及びファシリテーター

メインファシリテーター：丸藤文子 サブファシリテーター：金子洋二

ファシリテーター：成田倫史・渡邊彩・和田一良

責任者：和田一良 副責任者：成田倫史（ZOOM担当）

事務担当：佐野智香（事務局長）・野澤葉子

2.ワークショップ案内チラシ

学生が描き、創る 未来の新潟市

2021年 10月23日(土) 13:30~16:30

ワークショップ (Workshop)

オンライン開催



2030年の 新潟市の理想像と その実現のために 私たちができること

主催:新潟市政策調整課
企画・運営:NPO法人まちづくり学校

私はこれから新潟市とどう関わっていくのだろうか。約10年後の2030年は、どんな生活をしている？世の中はどう変化しているだろう。そして、新潟市はどんな魅力を発揮しているだろう。私たちが描く新潟市のイメージを、新潟市のまちづくりの基本的な方向性に反映できるこのチャンスに、市政を学び、同世代の学生と自由に語り合いたいと思う。新潟市の理想像とその実現のために私たちができることを準備して、ワークショップに参加します！自分の感性を解放して自由に若者らしい理想像を描くのが、ミッション！

ワークショップでは、学生のみなさんから2030年の新潟市の理想像とその実現のために私たちができることを、話し合ってもらいます。まずは、その準備を整えてご出席ください。



情報提供
10月8日にメールアドレスへ情報提供します。

①読み込む



②自由に発想

新潟市の概要および総合計画の概要についてまとめた資料を送ります。それを読み込んで、①理想像と②実現のためにできることを、下記にアクセスフォームに記入してください(他に簡単な質問もあります)。



+ アンケート →



10月17日(日)までに上記フォームに記入をお願いします。

10月23日(土) 当日の流れ

オンライン会議は、ZOOMを使用して開催しますので、最新版のZOOMを準備しておいてください。前日に、ZOOM ミーティングのアドレスをお知らせします。当日は、30分前より入室できますので、開始時間前に入室してください。

オンラインアイスブレイク

↓

5つの部屋に分かれる

↓

個人意見の発表

↓

グループディスカッション

↓

他のグループの意見を視察

↓

3つの重要な方向性を発表

3. 謝礼

Amazon ギフト券を参加者全員にメールで送付

4. 配付資料

学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップ案内

総合計画について（説明文付）

総合計画について（学生 WS 概要説明用）

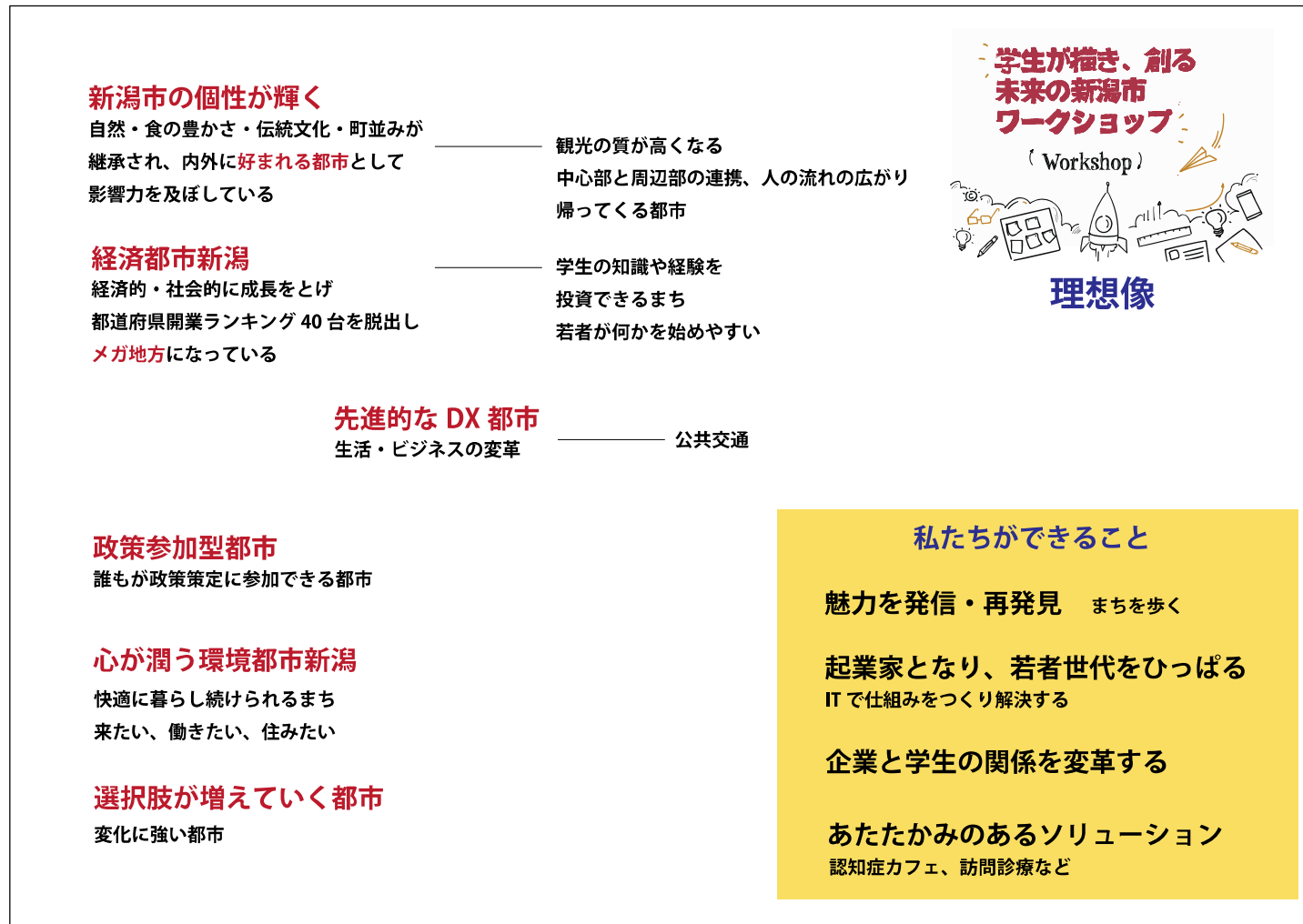
選ばれる都市 新潟市

新潟市魅力発見サイト「ガタプラ」案内

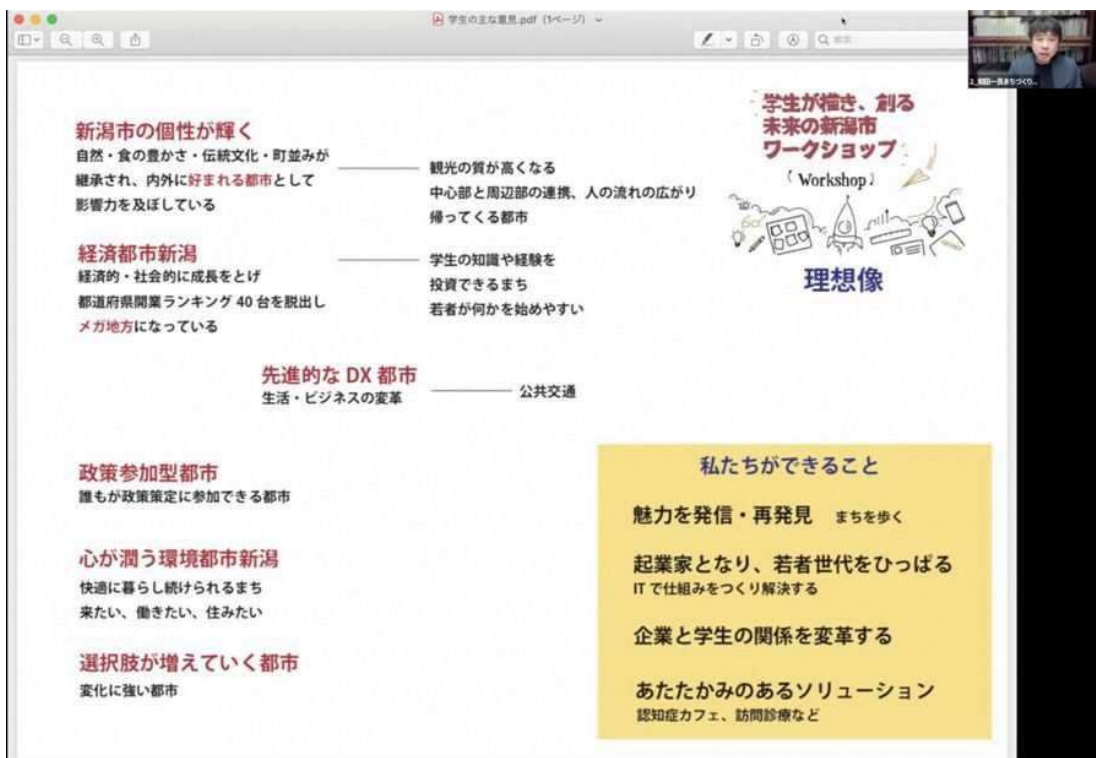
5.当日プログラム

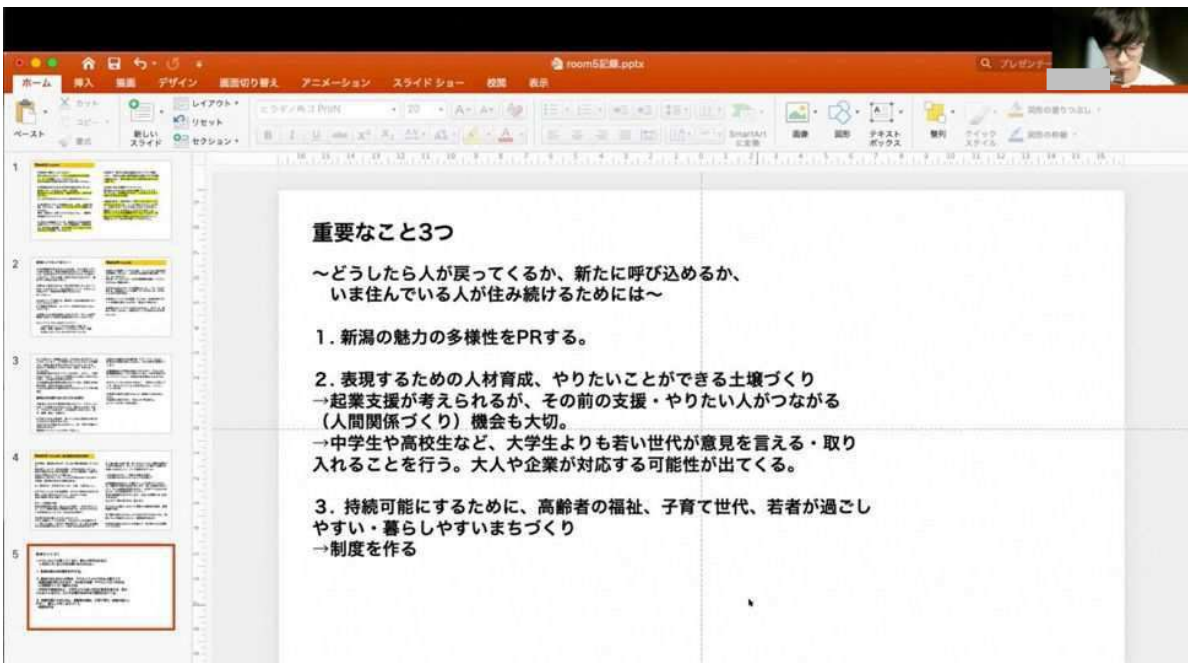
次期総合計画学生オンラインワークショップ進行表			
■日時：令和3年10月23日（土）13:30～16:30 ■ZOOMオンライン			
時間	内容	担当	準備品・備考
	事前準備	野澤	□ZoomURLのお知らせ（事務局/前日） 事前準備品を告知
10/23当日 12:30	準備		事務局サテライト2名（和田・渡邊） ZOOMホスト（成田）【自宅】 自宅準備（金子・丸藤）
13:00	Zoomオープン	成田	新潟市ZOOM入室
13:30	学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップ スタート 趣旨&流れについて説明	丸藤	録画のアナウンス
13:35	主催者挨拶	新潟市	
13:40	オンラインアイスブレイク	渡邊	
14:00	ブレイクアウトルーム（5部屋）	成田	アンケート情報をもとに事前にグループ分け
	部屋ごとに自己紹介	各ファシリテーター	
14:15	未来の新潟市意見交換	各ファシリテーター	
	第一次未来像ボード提示（@3×6）	各ファシリテーター	
	未来像への意見交換（20）	各ファシリテーター	印象に残った未来像は？（複数） つながる未来像は？ A3用紙のFG
15:00	ブレイクアウトルームシャッフル	成田	ホスト役の一人を残し、機械的に分ける
	話し合い内容の紹介（3分）と感想（@3×5）	各ファシリテーター	A3用紙を写真にとり、画面共有
15:20	ブレイクアウトルームシャッフル	成田	
	話し合い内容の紹介（3分）と感想（@3×5）	各ファシリテーター	
15:40	最初のグループへ戻る	成田	
	最も重要な未来の方向性は、この3つだ！	各ファシリテーター	A3用紙のFG
16:00	発表@3×6	ホスト役学生	
16:20	クロージング	丸藤	Googleフォームにふりかえり
16:25	主催者挨拶	新潟市	
16:30	終了		

6. 事前アンケートからの学生の主な意見



7.当日の様子





学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップグループ①

最新版を設定 フレームを消去

最も重要な未来の方向性は、この3つ!

飯坂さん：新潟市民の観点からあんまり考えていなかったけど、それでも違うグループの人と話して(多分地方)という言葉、都市というよりも大きい地方のくくり、田舎とかで意識すること、農業、資料、ダンスなど身近なところからIT化を進めていくといいのでは。田舎や地方としても大きくしていけたら、正面からアプローチしなくても、周りが関わっているところから受けていく。小さな変化が集まって大きな変化が生まれる。

白鳥さん：3グループでは、SDG への取り組み、観光について、身+観光の話、。交通の便が良くないと難しいのでは。連発を期待されるコミュニケーションの場が必要。新潟の魅力を明確に作っていかなければ。新潟の商業ランディングサイト、みんながどんどん参加できる場づくりをしていく(プレハブ無関心!?)

木村さん：企業ランディングページは改善していかなければ、SDGsは市だけでなく企業、国全体でもやらなければ、マネクス面をゼロにもっていく(ボトムアップ)だから、新潟市をアピールしていくポイントが足りないのでは、コレ!!!!!!というセンターとなるものが決まっていけない。イチゴがのっていないショートケーキですともうありがとうございます。もともと向心のない人も取り込めるような魅力づくりが必要なのは、特定のターゲットに刺さるようなPRと適切なバックアップ。

後藤くん：必要なのは人口減りを防ぐこと、どうすれば? 社会増と自然増、若者はUターンなど移住してもらう必要がある。観光に頼らず、継続的な形で関わってもらう(移住/定住)ことが必要。魅力的な就職先を確保することが大切なのは、大企業や金融加工業を育てている。PRしていく、後者は、子育て支援の予算を増やす。ごみの排出量が多いなど生活に密着した地道な取り組みをしていくことで住みよくなるようになっていくのでは。

五国川さん：一番に印象に残っているのは、「インバクトのある都市」になる必要があること。新潟市でいえばコレ! ということをしっかりと打ち出してほしい。

丸尾くん：暮らしやすさはもちろん、包み隠さない行政の在り方、魅力も増ひしろも合わせて打ち出していく、広瀬(南道)では受身車/リンクが盛んにおこなわれていて、坂の町という特性を理解してくれる人に情報を共有していくのあり方がいい。

東アジア文化都市 対象は「日本人」ではない!

今ある地域資源活用

なせ?)、ない? 仕組み悪?

東アジア文化都市 対象は「日本人」ではない!

何かの勝つ?!

東京、負ってる!!

どんな人が住みたい?!

関心にとまらぬ提供が必要

学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップグループ①

最新版を設定 フレームを消去

①何をしてもターゲットを絞る

若者 女性

②新潟市と言えはコレ! というシンボルをはっきりさせる

友だちに言われて後悔して

③情報や魅力にアクセスできる手段、ハードの整備を早急に。

あるのに届かずにいるのがもったいない

観光 政策 交通

① 学生、民間企業、行政が
タッグを組んで、ITの技術が伸びることを
増やしていく

② 誰もが差がなく幅広い多様な個性
保ち、住み良さを実現していく
産業、古田受援、伝統文化、観光、工業団地 - 新潟 / 今の強み

③ かつ、良く伝える

ニホカワの新潟市
2021/10/23
7-11-7-3

① 地元愛 × 起業
若者がチャレンジしやすい

② No.1の魅力をつくる
SDGsの福祉・教育・人権

③ コミュニケーション & 政策提言
SNSを使い、TLCのみで社会の変化に対応

全体まとめ



理想像と 私たちがやれること

新潟市の 2030 年の姿に必要な 3 つの方向性と
私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

新潟市の二〇三〇年に必要な方向性 学生が考える重要な方向性

先進的な DX 都市を目指す

学生、民間企業、行政がタッグを組んで IT の技術を高めていく

コミュニケーション&政策提言

SNS を使った仕組みで社会の変化に対応 協働の場を創る

NO.1 の魅力をつくる／新潟市のシンボルを前面に出す／新潟市のシンボルがある

世界に誇れる新潟の魅力を磨く・創り出す

新たな魅力づくりよりも、今あるものから他の地方都市と差別化できる要素は何かを真剣に考える

今ある資源を生かした「新潟ならではの」ものを絞り込む

チャレンジに寛容な都市／地元愛 × 起業／やりたいことができる土壌のある都市／新しい考えや変化に素早く適応する都市

多様性にあふれ、起業を後押しする環境が整っている

新潟が好きな若者がチャレンジしやすいまちにする

一人ひとりの考えが大切にされ、社会課題を解決しながら挑戦していく

社会の変化に合わせて「新しい何か」を生み出す

生き方・働き方の多様な都市／やさしく多様性が保たれた都市／住み続けたい都市

戻ってきたい、新たに來たいという環境をつくっていく

誰もが差が無く、幅広い多様性を保ち、住みよさを実現していく

今いる人がずっと住んでいたいと思える生活インフラを整備する

私たちがやれること

魅力をカッコよく発信・再発見する

SNS・まち歩きなど

起業家となり、若者世代をひっぱる

IT で仕組みをつくり解決する

企業・地域・行政と学生の関係を変革する

協働の場づくり

あたたかみのあるソリューションを提供する

認知症カフェ、訪問診療など



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

重要な方向性はこれだ① ターゲットを絞ったまちづくり

若者、女性、子ども、高齢者など具体的な対象をしっかりと設定した政策の実施

- 車を持っていないとどうしても生活のハードルが高くなってしまふ。交通弱者にやさしい都市計画を考えることで、観光客にもやさしい新潟市になる。
- 子育て世代向けのサポート制度を充実させることで、里帰り出産を考える家庭が増える。

今ある地域資源の活用を重視する。

ハードよりソフトを重視した観光を

- スノーピークが急成長している。コロナ渦もありアウトドアの需要が高まっている。信濃川沿いのミズベリングのように、豊かな自然を生かした観光をもっとブランディングしていく。

重要な方向性はこれだ② 新潟市のシンボルを前面に打ち出す

新たな魅力づくりよりも、今あるものから他の地方都市と差別化できる要素は何かを真剣に考える

- 食や酒、日本海、自然など新潟らしい魅力を掛け合わせて県内外にPRしていく。
- ライバルの地方都市の設定をする。東京などの大都会と戦う必要はない。

重要な方向性はこれだ③

新潟市の魅力にアクセスする手段をもっと分かりやすく

新潟市の魅力を市民向けだけでなく、新潟出身で市外・県外に出ている人にも積極的に発信していく。⇒Uターンを増やすねらい

小さな魅力を個々人が発信できる仕組みづくり

- 新潟市が魅力を発信するよりも、市民が魅力を発信できるプラットフォームづくりに注力するといい。結果として私たちが魅力の再発見をすることにつながる。
- 県外の友人を案内するときの道しるべになる。
- SNS 映えする魅力より、魅力の全体量で勝負。
- モノだけでなく、ヒトも魅力になる。



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

先進的なDX都市 重要な方向性はこれだ①

学生、民間企業、行政がタッグを組んでITの技術を高めていく

- スマート農業が新潟を救っている
- 新潟ならではのIT技術研究が進み、開業率全国46位をくつがえす

- VRでダンスなどテクノロジーと感性が融合する

重要な方向性はこれだ③ 個性輝く都市

新潟が所有する魅力(産業・古町芸妓・伝統文化・農業系技術・工業系技術)をカッコよく伝える

誰もが政策策定に参加できる都市

- ITの技術で一人ひとりの意見をつなぎ、熟議を重ねる

重要な方向性はこれだ②

やさしく多様性が保たれた都市

誰もが差が無く幅広い多様性を保ち、住みよさを実現していく

- 認知症カフェの動きが広がり、共生の価値が高まる
- ちょっとした風景の中にある共生社会を大切にする
- 今動いているトモニプロジェクトの方向性を伸ばす

地域愛を育む都市

- 市民が愛着を抱き、子育てするなら、仕事をするなら、豊かな生活をするなら、新潟市を選ぶ。
- 帰ってくるまちとなる
- 楽しみ、学び、まちを知り、感じる



理想像と 私たちがやれること

最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

地元愛×起業 重要な方向性はこれだ①

新潟が好きで若者がチャレンジしやすいまち

- 企業が学生に投資して、若者のやる気と熱意を引き出す
(e.g. 「動物セラピー」のような新しい産業を生み出す)

重要な方向性はこれだ③

コミュニケーション&政策提言

SNS やオンライン会議を使った仕組みでつながり社会の変化に対応

- 若者・高齢者・地域の人々をつなぐコミュニケーションの場を広げたい (e.g. 認知症カフェ)
- 今回のワークショップのような形で、企業と学生、学生同士がつながる明るく元気なまち

重要な方向性はこれだ②

No. 1の魅力をつくる

世界に誇れる新潟の魅力を磨く・創り出す

- 再生可能エネルギーやものづくりはさらに磨きをかける
- 環境・食×観光で新潟の魅力をPR
- 都市と自然が融合し、新潟を来たい、住みたい、働きたいまちに
- SDGs先進都市として世界とつながる

学生×企業×地域が
つながって発信！

SDGsの中で新潟らしい特色を出せるのは
「福祉」「共育」「人権」



理想像と 私たちがやれること

最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

チャレンジに寛容な都市 重要な方向性はこれだ①

多様性にあふれ、起業を後押しする環境が整っている

- 若者が何かを始めやすい
- やりたいことにチャレンジできる
- 多様な人が共存できる
- 選択肢が多い

- 何か行動する際に、新潟が選択肢になる
- ワークेशन目的で定期的に新潟を訪れる人が増える

私たちが新潟を発信します！

- 未来を作る若い世代と情報を共有します！
- 全国規模のイベントに参加して新潟をアピール！
- 県や市のプロジェクトに参加してアイデア発信！
- 魅力を知り、地域に現状を知り、伝えます！
- ”ゼロからイチにする”もっと若い世代がやりたいことを見つけられるようなイベントを作ります！
- まち歩きルートを開発して実施します！
- SNSを活用して新潟の魅力を発信！

重要な方向性はこれだ②

新しい考えや変化に素早く適応する都市

社会の変化に合わせて、“新しい何か”を生み出す

- 多世代が関わり合いながら、お互いを認め合い、すぐに行動に移すことができる

重要な方向性はこれだ③

新潟市のシンボルがある

今ある資源を生かした、“新潟ならではの”ものを絞り込む

- 新潟市はいいものがたくさんあるが絞り切れていない
- ”推し”を作ることで注目度を高める



理想像と 私たちがやれること 最も重要な方向性はこれだ！

新潟市の2030年の姿に必要な3つの方向性と私たちがやれることを話し合った議論のまとめ

重要な方向性はこれだ①

生き方・はたらき方の多様な都市

戻ってきたい、新たに來たいという環境をつくっていく

- WI-FI 環境の快適化・普及を進め、ネットワークインフラを高める。
- 大学・専門の学びの多様さ、生き方の選択・はたらき方の多様さを増やす。

- 県外に向けたアピールの方法・表現方法を工夫する

重要な方向性はこれだ③

住み続けたい都市

今いる人がずっと住んでいたいと思える生活インフラを整備する(公園・子育て環境・公共交通)

想いのある人同士がつながり行動できる都市

- IT の技術を生かしながらつながり、応援し合える関係がくれる。

重要な方向性はこれだ②

やりたいことができる土壌のある都市

一人ひとりの考えが大切にされ、社会課題を解決しながら挑戦していく

- 0からチャレンジしてみようと思える環境がある。
- SDGsの視点から一人ひとりが課題を解決していく
- 次世代につながる体験と学びがある。

つながりを育む都市

- 学生と小さなお店が協働しながら、まちの活性化を進めていく。
- 高齢者も若い人も相互に理解して、双方にとって住みやすく、ストレスのない環境にしていく。
- 車や免許のない人でも移動手段が確保できるよう、公共交通機関のネットワークを充実させる。

9.ワークショップ終了後のふりかえりシートまとめ

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	学生同士で化学反応が起きたから。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。、他大学と交流すること		新潟の課題と現状	意見交換が出来たこと、学生との関りが今後無くなる(Twitterの交換などがない)だったこと	起業エコシステム	今回、交流した学生と今後に関われるようになりたい。この交流が、プロジェクト等に繋がると感じた。
満足した	グループ分けや構成には満足できているが、やや時間が足りなかった	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟市に対する自分の理解度の浅さ	新潟市の知らないことを知れた、理想像に対する意見を沢山聞けた	住みよさと観光業の両立について、どの面からアプローチしていくのか	
満足した	様々な大学の学生の意見を聞くことのできる場は初めてだったので、とてもいい経験になりました。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		認知症カフェとSDGsとをつなげるという考え方	認知症カフェを知ってもらえたこと。	高齢者にも若者にも優しい街にしていってほしいので、そのような取り組みがあると関心を持っていると思う。	
とても満足した	自分に無い視点の意見を知れた。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		自分の視野の狭さと、同年代の方々の行動力のすごさ	嬉しかったこと：様々な意見や活動を知れたこと 残念だったこと：もう少し自分の意見をうまく伝えられなかったこと	福祉、行政、観光	自分にもできることが、まだまだあるということ
とても満足した	自分では思いつかなかった意見がとても多く聞けて、視野がひろくなりました。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。		たくさんの大学、専門学校の学生さんが居て、それぞれ違う視点を持っていることが面白かったです。	嬉しかったこと…普段関わることの無い人達と話し合いが出来て、とても有意義な時間を過ごせました。 残念だったこと…もう少し自分の学校の特色を生かした意見を言えたらよかったです。	観光業、魅力のPRについてです。 新潟のたくさんの魅力が、市外や県外の人達に伝わり、新潟を好きになって欲しいと考えています！	
満足した	様々な学校に通っている方と意見を交換できたから	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		一つの課題に対しても複数の解決法があるということ	一人ひとり発言の機会がしっかりと確保されていてよかったです。	どんどん人口が減っていて寂しいので、人口減少対策にどのくらい重きを置いているのが気になります。	プライバシーの問題もあり難しいかもしれませんが、もしできれば新潟市出身者と市外出身者の人数バランスを考慮したチーム編成だと、さらに意見の幅が出やすいかと思います。

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	皆様の素晴らしいアイデアを聞いて、自身の考え方がとても具体的なものとなりました。自身の計画を実現するためのステップをボトムアップとトップダウンの両方から進めていきたいと思えます。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。、人々の活力溢れる新潟市を実現するための考えの具体化		人々の具体的なニーズ、小さな声を聞くことを通して具体的に生活環境を改善していくことが必要だと感じました。	自身の考えに率直な意見をもらえたことは非常にためになりました。	新潟市の人々の健康福祉を保つ又は向上させるために具体的にどのような政策がなされているか、年代別の対応を知りたいです。なぜなら、新型コロナウイルスの流行により、外出自粛が広まる中で、肉体的・精神的に不調に陥る人が増加してきており、対処が必要と感じるからです。	
とても満足した	私自身新潟の未来に考えることが今までなかったのですが、よいきっかけをいただけたなと思いました。また、多くの方の意見を聞くことで新潟の魅力を確認しました。	様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟には私が気が付いていない魅力がまだまだたくさんあるのだと気づきました。今後の大学生活で今以上に新潟の魅力を自分自身で体験したいと感じました。	多くの人の意見を聞いて楽しかったです。学生ということで、それぞれの専門科目が違う中話する話題は多種多様で初めて聞く単語なども多く勉強になりました。残念なことは参加した学生の皆さんと今後コンタクトが取れないことです。ぜひこの機会にもっとお話をしてみたかったです。	私は新潟市のまちづくりについて、もっと車がなくても便利ようにしてほしいなど感じます。車を運転する場合には、道路も広くバイパスもあって、駐車場も広いというたくさんメリットがあります。しかし、車を持っていない身としてはもっと電車やバスの運転本数を増やしてほしいと感じます。	貴重な機会をいただきありがとうございました。新潟市民としてさらに、新潟の魅力体験し、発信していきたいと感じました。ありがとうございました。
とても満足した	ここまでの人数でさまざまな価値観を持った方々と意見交換を行うことはないので、良い経験ができた。また、新潟市と向き合う良い機会にもなった。	地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟市の魅力は多くあるけどどれも発信しすぎて、うまく発信が行われていないこと(ターゲットが絞られていないなど)	嬉しかったことは、様々な方と意見交換を行って全員が「新潟市を良いものになりたい」という想いをもっていったこと。残念だったことは、時間が足りず、全員の意見を最後まとめることができなかったこと。	日本一若者が活躍できるまち、日本一女性が大切にされるまちになること。「女性が働きやすい＝男性や障害者、高齢者も働きやすい環境であり、子供を産み育てる女性を大切にすることにより、みんなが大切にされる」	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	普段の学校生活では関わることのできないたくさんの方と意見交流ができ、充実した時間を過ごすことができたと思います。様々なグループの意見を通して今まで気付かなかった視点を知ることができました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		私は、福祉の専門学校に通っているのですが、福祉以外の分野の視点を知ることができました。自分の専門外の話聞いてももっとたくさんを知っていきたいと思いました。また、自分の住んでいる土地をもっとより良くしたいと感じている方がたくさんいる事に気づきました。	嬉しかったこと 活発に様々な活動をしている人が居ること たくさんの意見を聞いたこと もっと活動を自ら行っていきたいと思えたこと 刺激をたくさんもらえたこと 残念だったことは もっと話し合いたかったです	福祉の分野に関心があります。 将来、社会福祉士として働きたいと考えており、様々な立場にある人が豊かに暮らせる市になって欲しいと感じています。また、私の通っている学校では、自分たちで地域イベントなどを企画することがあり、学生が考えた企画を実際に行えるようになって欲しいと感じているからです。学生の意見を取り入れながら地域活性化ができないかと思っているからです。	特にありません
とても満足した	自分では想像できなかった視点からの問題点や考えが聞けたから	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		学生であっても地域のために起こせるアクションはたくさんあることに気づけました。	他大学の学生と議論する機会がなかったので、今回その機会を頂けて嬉しかったです。時間内に自分の意見をわかりやすく伝えられなかったことが課題として残りました。	デジタルや新しい価値観をどのように街づくりに活用していくか関心があります。高齢化やコロナウイルスの影響でこれまでの生活様式や考え方で都市として成長できないと考えているからです。	
満足した	事前の資料の読み込み・理想の考案など大変ではあったが、そのおかげで楽しみながら自分の意見を伝えることができました。また、様々な人の意見を聞くことができました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		私自身はずっと新潟にいたので、改めて新潟県外の方の意見を聞くことができてよかったです。	沢山のひと意見交換をすることができたが、オンライン故に連絡先の交換などが出来ず、今後の発展が望めない点。	教育、起業、IT、結婚、子育て	
とても満足した	普段話す機会のないNPO法人の方々や、大学生の方々と意見交換できる貴重な機会だったから	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		起業率や魅力度ランキングなど、統計的に見て提案することについて知ることができた	普段より積極的に意見を述べたり、多くの方の意見を吸収できたこと、交流できたことが嬉しかった。	どの世代も住みよく、暮らしやすい環境づくりや、自然や食の魅力を発信する。理由は、これから先自分が生活していく上で、自分だけではなくそこに住む人々の未来に関わってくださる。自分たちが魅力的だと考えていることが留まっているのは寂しい。	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに興味がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
満足した	様々な意見を聞かせてもらい新潟に足りないものなど再確認できた。	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟に足りないものを再確認できた。	自分の考えをうまくまとめてから話すべきだった。	観光	
普通	意見が抽象的で具体性に欠けていた気がする。もっと具体性に富んだ濃い話し合いにしたかった。	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。		県外から進学のため新潟にきている学生が意外と多いこと、そんな学生のしている視点が新潟在住の学生と異なっていることに驚いた。外から見る新潟の意見が聞けた。	同世代の意欲ある学生が多くいたことが嬉しかった。もっと話し合いをしたかった。	県民性なのかもしれないですが、政策やPRが保守的に感じます。シャイです。もっと新しいこと、面白いことに挑戦し、それをしっかりPRしていくことが必要だと思います。見せ方、伝え方がへたくそですね。ナンバーワン、オンリーワンにこだわらず、自分たちが新潟の魅力に気づき、自信をもってPRしなければならぬと思います。北海道に勝つために観光政策をしているわけではありません。沖縄に勝つために魅力を探しているわけではありません。新潟の魅力はナンバーワンでもオンリーワンでもないかもしれないけど、観光者も、消費者もナンバーワン、オンリーワンのとこしか行かない、モノしか食べないというわけではないです。もっと自分たちの県に今住んでいる人のことを第一優先に考え、このまま住み続けてくれるようなまちづくりをしなければならぬと思います。新潟の魅力は沢山あります！	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに興味がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	私自身も新潟をもっと良くしていきたいと思ったのでこういった機会に参加出来たのはとても嬉しいことだと思います。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		他職種が新潟市を良くするために、こういった意見交換の場を作って下さるだけで新潟の未来の想像が膨らみ、より新潟で一生涯暮らしていきたいと再確認出来ました。	県外の大学の方も参加してくれて、新潟の良さを共有できたのは嬉しかったです。	こういったワークショップ、意見交換の場が出た意見は新潟の企業に拡散していただき、企業もそれを取り入れられるような体制をとって欲しいと思いました。今回は新潟がよりいい街になるために、20代大学生の意見を聞いて、2030年にはどうすればいいか考える会でしたが、私たちの考えた新潟市になるにはすぐにはできるものではありません。それより先の2040年に向けた取り組みとして小学生、中学生の意見を聞いて、それを実現化させることにより、専門学校の新たな設立、ユーモアがある街、最先端の楽しい街作りになるのではないかと思います。	楽しかったです。また機会があれば是非参加したいです。
とても満足した	他の学生のまちづくりに関する様々な考え方を聞くことができ、新潟市の魅力にも様々なもの、様々な側面があると思えたから。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		他の学生の意見をわかりやすくまとめて発表する力や発言力、知識量の多さや思考力に圧倒され、自分は押されればなしだったので、自分に足りないものに気付くことができた。また、新潟市をよりよいまちにしていくことを考えたときに、外から訪れた人から見てよいと思えるまちと、住んでいる人から見てよいと思えるまちは違うことに気付いた。	新潟市のことが大好きな人、新潟市に魅力があると感じている人とたくさん話ができることが嬉しかった。このワークショップの目的は新潟市をよりよくする方法を考えることだったが、参加したことで新潟市の魅力を見つめなおすことができ、新潟市という場所をもっと好きになれたように思う。	交通手段の整備 車があれば非常に便利な都市ではあるが、車がないと不便な都市であることは車が運転できなくなった生活を思い描いたときに不安を感じる。自分はこれから先も新潟市にずっと住み続けるつもりなので、たとえ車に乗れなくなっても行きたい場所に行って活動できるかどうかに関心がある。新潟市にはどの世代、どのような状況でも安心して、便利な生活が送れるまちであってほしい。	
満足した	さまざまな学生の意見を聞くことができたから	様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		さまざまな視点での新潟の改善点、向上点があること。新潟の企業率が46位であることが驚きだった	意見交換ができたこと。話せない学生や社会人の方がいたこと	SDGs 新潟はものづくりの街として知られていますが、だからこそ地球に優しい開発に関してもトップレベルになっていけるのではないかと考えています	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	多種多様な学部の学生が集まり、様々な意見交換ができた	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		働き方の改革や、学生の役割	実際に行動されている学生さんがいらっしゃるという事で私自身より一層やる気と熱ついに燃えました残念な所として、時間が少なかった、1日開催では無く2日間あると話し合いの質が上がりますと感じました。	大人たちつまり社会経験をされた方だけの目線以外にも学生等を取り入れるあたりに関心があります。この幅をもっと広げ海外から移住された方にもお話を伺うと方がもっと良くなりそうです。	
とても満足した	はじめは不安だったが、ファシリテーターの方達の進行で意見交換を行うことができました。また、様々な視点でたくさんの意見を聞いて、なるほどと思うことが多く充実したので、ワークショップのやり方を参考にしたいです。	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。		自分とは違う考えの意見がたくさんありました。県外の人視点から考えると新潟市には不便なこともあることに気づきました。	嬉しかったことは自分の意見が少しでも広まったことです。残念だったことは特にはないです。	まちづくりの魅力の発信の仕方に関心があります。今後、街歩きマップを作成しようと計画していて、どのように発信していくのがよいか知りたいからです。	
満足した	メインとなるグループに属しながらも、他グループとも交流をすることで様々な意見を知ることができたのが良かった。	参加を通じて様々な情報を入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。		自分自身も含め、まちづくりに関心を持つ若者が多い事実。	嬉しかったことは、まちづくりに関する様々な意見を同年代の方から知れたこと。残念だったことは、グループワークの時間が少し短かったこと。	高齢者が暮らしやすいまちづくり。高齢化が進む中で、高齢者が安心して住み続けられるようなサービスを充実させることが特に重要だと感じるから。	今回のワークショップは、まちづくりに関して魅力的なアイデアを持つ参加者ばかりで、このような人が定期的に集まり意見交流しあえば、まちづくりに関する面白い方策が生まれるのではないかと。

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	今回のワークショップを通して、この機会が無ければ交流することのない大学や専門学校の方とお話しすることができたことが一番満足した理由になります。新潟市について考える事は個人的にどの市に注目をおくべきなのか何に視点を置いて考えていくことが正解なのか分からず、事前の課題提出では抽象的なことしか書くことが出来ませんでした。今日までに自分の新潟市に対するイメージや他の市との比較を行い、起業についてなにか自分のやりたいことが実行できるそんな新潟市になってほしいと理想が固まりました。グループのメンバーの意見と自分の意見には合致する点もありたくさん人の意見を聞くことができて満足しました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。		私は生まれも育ちも新潟市であるため、今の環境が当たり前でありあまり不便なこともなく生活することが出来ていたため新潟市のいいところも悪いところもあり見えていない点がありました。今回の4グループには他県や他の市から参加されている方が多く、他から来たこそ分かる新潟市の課題について気づかされました。また普段は新発田の大学に通っているため新発田と新潟市の違いもあるのではないかと知りたいという気持ちになりました。	この4グループでお話を出来たことが嬉しかったです。活発に自分がやりたいことを行っている方が多くいて、他の学校の活動を知ることができたのが良かったです。対面で行えなかったことと時間に限りがあることが残念でした。	新潟市の強みをいかしたまちづくりというところに関心を持ちました。先ほどのディスカッションのなかでも何度も出てきていましたが、多くをブッシュするのではなく特定の特に新潟のいいものすごいものに搾ってPRしていくことが求められるのではないのかなと思いました。	このような会に参加させていただくことが初めてでいろいろな刺激をいただくことが出来て楽しく学ぶことが出来ました。またこのような学生が交流できる何かがあれば参加したと思いました。ありがとうございました。
とても満足した	3時間は長いと思ったが、普段一緒に活動している人以外の学生で新潟市のより良い未来のについて話し合えた貴重な時間で楽しくて、あっという間に時間が経ったから。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		新潟には様々な専門分野の学生がいて、色んな観点で新潟市の理想を描いていたこと。	新潟市の多くの学生が新潟市のこれからについてちゃんと意見を持っていることが希望に感じました。	広報活動。自分の研究分野が行政広報であるから。	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	同じグループや他グループの方々の意見を聞いたことで、自分ではわからなかった新潟市の魅力や課題を知ることができたからです。また、自分が考える未来の新潟市の理想像のために何をすべきかについての考えも深まりました。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		参加されている方々は、それぞれ新潟市の未来について自分が大学などで学んでいることと関連づけて考えている方が多いと気づきました。そのため、私も自分が大学で学んでいることと関連付けて未来の新潟の理想像について考えてみたいと思いました。	嬉しかったことは、他の大学の方々と交流し現在の新潟・未来の新潟について話をできたことです。残念だったことは、私は班の代表者として話し合いの進行や発表を担当させていただいたのですが、うまく班の意見を発表できなかったことです。次回このような機会があったら班全員の意見を自分の頭の中でもきちんと整理して相手にわかりやすく伝えられるように練習したいと思います。	私は、新潟市が行っている「育児と仕事の両立」についての取り組みについて関心があります。理由は、私は大学で社会保障について勉強しており、今回事前資料で拝見したデータによると育児をしている女性の有業率が政令市第二位となっているからです。保育所が多いことなどが理由の一つとして挙げられますが、具体的に女性が働きやすい環境がどのようにして実現されているのか課題はあるのか等について新潟市の市制をもっと知りたいと考えています。	私は、学生が市の未来について話し合うようなワークショップに今回初めて参加したのですが、初対面の方々と意見を交換する楽しさや意見をまとめる難しさに気づくことができました。
とても満足した	自分では考えつかないようなアイデアに出会えたから。新潟市を盛り上げたいと活動している学生がたくさんいることを知れたから。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		今の新潟市に対して、皆同じような意見や感覚を持っているということ。学校がある場所によって、それぞれ活性化のために活動している内容も異なるということ。	アクティブな学生にたくさん出会えて嬉しかったです。新潟市の話から新潟の話し合いにすり替わって議論が進みがちだったことや、今の新潟市の魅力に感じている部分をくわしく話せなかったことが残念です。	教育制度や魅力発信など 母親が教師で、小さい頃から先生の仕事に慣れてきており、教育制度がいかに重要が感じてきたからです。 新潟市に魅力がないわけではないけれど、これと言ったものがないので、それを上手に発信し、地元の人々の誇りを作ることで、人口流出が減ると思うからです。	
とても満足した	新潟市の発展に繋げるため、今回のワークショップに参加しました。ご参加した皆様の素晴らしいアイデアを拝聴することによって、自身のアイデアもさらに深めることが出来ました。今後の自身のすべきことが具体的なものとして現れてきました。	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。、自然とともに健康に生きるまち新潟を実現するための具体的なアイデアを掴むきっかけを得ること。		新潟市の発展のためには、ヒトの繋がりを深めることが第一だということ。	自身の意見に対して率直な感想をいただけたことが嬉しかったです。	私は幸福は肉体面・精神面の健康によってもたらされると考えております。上記の健康を実現するためには、運動・スポーツを行うことが有効だと捉えます。したがって、新潟市が運動・スポーツを通じた健康福祉のための施策を行っているのか。行っているならどのようなものがあるのを知りたいです。	
とても満足した	新潟市の未来を考えるとともに他校の方と話せる良い機会になった	参加を通じて様々な情報を入力し、視野を広げること。		新潟市の現在の取り組みやこれからのこれからの話題がわかった	色々な視点の意見を聞いて良い経験になった	新潟2キロをきっかけに新潟市がより活気ある街になって欲しい	

Q1:ワークショップ全体について、あてはまる選択肢を選んでください。	Q2:Q1でそう思った理由を聞かせてください。	Q3:今回のワークショップにどんなことを期待してましたか？(複数回答可)	Q4:あなたの出身地を教えてください(例：新潟県新潟市)。	Q5:本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？	Q6:本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことは何ですか？	Q7:あなたは新潟市のまちづくりや市政について、どのようなことに関心がありますか？その理由も教えてください。	Q8:その他、気づいたことがあればお書きください。
とても満足した	このワークショップは新潟市や自分の将来の生活について深く考えるきっかけになりましたし、当日はとても活発な話し合いができて、3時間があっという間に感じたからです。もっと積極的に新潟のまちづくりに関わっていきたいと思いました。	参加を通じて様々な情報入手し、視野を広げること。、様々な知識や経験を持つ人たちと知り合えること。、まちづくりに関して、自分の意見を発信できること。、地域へ関わる一つのきっかけとなること。		人と人との交流が、新しいアイデアや課題を見つけることに繋がるのだと強く実感しました。 個人的に、今回参加していた学生は今以上の刺激を新潟市に求めているように見えます。だからこそ、大きな変化や確実に効果のある取り組みを考えていくことが必要なのだと思いました。	自分の意見に共感してもらえたことや、自分が今まで思っていたことを他の学生が具体的に言語化してくれたことが嬉しかったです。また、司会の方が話しやすい雰囲気を作ってくれたことも印象に残っています。	何か新しい取り組みやイベントが始まった時にそれをどのように宣伝していくのか、新潟市の広報に関心があります。現在私自身が大学の広報活動に参加しており、より多くの人に関心をもってもらえる伝え方やアプローチ方法を学びたいと思っていますからです。ワークショップ内でも「新潟市には魅力がたくさんあるのにアピールが足りていない」という話があり、クリエイティブなPR活動や広告媒体にこれから期待したいです。	